



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 10 月 11 日(火)～15 日(土)
第 3 回まちなか美術展 編

第 3 回まちなか美術展が 10 月 11 日から 15 日まで、上町通りと西大通り商店会で開催されました。この秋は、万感の思いをこめて「希望へとつながる街を歩こう！」をテーマに、未来のアーティストである地域の子どもの作品を、商店の店頭やウィンドウに飾り、それぞれの商店会ならではのサービスと一緒に楽しんでもらおうというものです。

上町通りでは上町すみれ会が中心となり、中央商店会の協賛店店頭やサンピノ、上町ほっとステーションに能代養護学校美術部生徒の作品、愛慈幼稚園・第一保育所園児の作品、能代工業高校機械科 2 年の作品を展示しました。各協力店では、割引サービスや抹茶やお菓子のサービスで来てくれた人をおもてなしします。

西大通り商店会では、協賛店の店内や店頭にも能代第一中学校の生徒作品、まつばら保育園園児作品、能代の伝統あるべらぼう凧を展示しました。期間中ウォークスタンプラリーを開催し、2 店以上回ると最終日にガラポン抽選の楽しいイベントがありました。

2 つの商店会と一緒に「まちなか美術展」を行うということ、地域の子どもの作品を市民に発表できる機会を作っていることで、テレビの放映や地元新聞の記事で注目してもらいました。おかげで、たくさんの方が商店街を歩いてくれました。

上町通りでは、4 カ所に木のテーブルにパラソル、木のベンチを設置して、オープンカフェとして町並みをおしゃれに演出。上町ほっとステーションでは、木の空間と子どもたちの絵がマッチしていましたね。各商店の展示も年々レベルアップして店先が光ってました。幼稚園の子どもたちや若い親子連れなど、普段は見られない人たちがたくさん来てくれました。「いつもは車で通りすぎる街なんだけど、いいですねえ」とか「いろんな店があって歩いて楽しかった」とか、この町のよさを感じていただけたと喜んでます。

ほっとステーションに置いた「ひとことノート」には「木のぬくもりを感じつつ、子ども達の作品でほんわかった気持ちになれました」「まち全体があたたかくなったよう！」「のびのびとほんわりする絵を見て、豊かな気持ちを少しとりもどした感じです」など、うれしい感想がたくさんでした。



作品を作ってくれた子どもたちの元気な声と笑顔がまちにあふれると、お店の方も「道行く人も笑顔になりますね。」



ウィンドウは絶好の展示場所。表情豊かな魚や鳥が楽しそうに舞っています。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

各商店の反応も、年々よくなっているとのことで、次回の展示を楽しみにしている様子です。「まちなか美術展」を通して、西大通り商店会とお互いの商店会の現状や課題を話し合ったり、いろんなアイデアが出てきたりと交流が深まりましたね。各商店会でもサービスを考えてくれたりと協力して、この企画を楽しんでくれるようになりました。

地域の学校の協力も本当にありがたいです。子どもたちの絵が町を明るくしてくれました。たくさんのご協力ありがとうございました！。

文：平山 はるみ

まちなか美術展西大通り 編

1(ワン)・2(ツー)・3(スリー)！そうです。今年はいよいよ3回目となる「まちなか美術展」を、西大通り商店会&上町自治会のみなさまと友(とも)に開催することができました。そのこと自体がとても嬉しかったと私たち商店会のメンバーは感じています。

一回ごとに、次々に湧きあがる新鮮なアイデア、とても楽しい作業でもありました。今回は能代一中生徒さんの迫力ある作品に加えて、まつばら保育園児の皆さんの笑顔あふれる作品や、商店会会員のご協力により能代べらぼう風の伝統ある作品が各店舗を華やかに飾ってくれました。

また、地元新聞やテレビなどで放映してくださったおかげで「まちなか美術展はどこでやっていますか？」と、市役所まで訪ねてこられて、ウォークスタンプラリーの用紙を取りに来てくださって「ゆっくり廻ってみますね」とおっしゃってくださった方もいて、本当に感激でした。

最終日、ウォークスタンプラリーのガラポンの抽選会では、1番目にガラポンをしてくださった方に1等のお買い物券が当たって、一同大盛り上がりでした。展示されている作品を、目を細めて観てくださる市民のみなさまのあたたかい笑顔が、また来年へと私たち商店会のメンバーの背中を力強く押してくださいませ。

本当に楽しかった！嬉しかった！そして幸せ！そう思えるまちなか美術展でした。上町自治会のみなさまとの交流を更に強く繋いで商店街全体にその絆が広がっていくことを心より願っています。

文：西大通り商店会 安岡 里江



ほっとステーションには高校生と保育園児の作品が合わせて展示され、面白い表情をだしていました。



店頭では個性豊かな作品がより魅力的に見えるよう工夫がこらされていました。



閉じたままのシャッターも作品を展示するとまちが明るくなります。



作品を見て回るだけでなく、お店のスタンプラリーや抽選会があるとまち歩きの楽しさは倍増ですね。